令和元年12月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第664号

林業福島

No. 664

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

12 2019

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■炭　　出　　し

利用と持続可能な循環について

公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
理事長　菊　池　壯　藏

さる十月六日、ふくしま県民の森において「第二回ふくしま植樹祭」が開催されました。

昨年の「第六九回全国植樹祭」が南相馬の海岸で行われた際、サテライト会場としてここ県民の森にも少花粉スギの植樹活動が行われておりました。その全国植樹祭の理念を引き継いで福島県独自の取り組みとして、昨年十一月に南相馬で「第一回ふくしま植樹祭」が開催され、さらに、これを引き継いだ今回の「第二回ふくしま植樹祭」にあたっては約二、〇〇〇人の参加をいただき、約二、八〇〇本の広葉樹の植樹活動とともに、昨年会場に植えた少花粉スギの幼木の周りの下草刈り（育樹活動）などをセットで体験していただきました。

さて、この間の「植樹祭」のメインテーマについて思い起こしてみますと、全国植樹祭では「育てよう　希望の森を　いのちの森を」。第一回ふくしま植樹祭は「未来につなぐ希望の森づくり」、そして第二回ふくしま植樹祭では「森林（もり）づくりを続ける、広げる、繋（つな）げる」がテーマとして唱われていました。一見すると皆同じような言葉のようにも思えますが、今回の植樹祭に参加して、開会式の際に宣言されたスローガン「復興に向けて力強く歩む福島の今を発信し、植えて、育てて、利用して、また植える持続可能な循環の森林（もり）づくりを進めましょう！」を聞いた瞬間、それまでとは違った特別な強い印象を受けました。「利用して」、「持続可能な循環」という言葉がとりわけ心に響いたのです。日本全土で「植える」「育てる」の活動はすでに七〇年および四〇年強の歴史を持っています。森林（もり）が私たちに与える恩恵を、世代を越えて繋がる永い時間軸のなかで維持し享受続けるために、いま何をすべきか、という視点が新たに登場してきたな、と感じたのでした。

この「利用して」というキー・ワードの奥行きはかなり深いと思われます。森林（もり）を単なる木材資源（建材・燃料・製紙・等々）の供給源として考える「営林」の発想が「森林管理」という考え方に変化したことにも表れているように、生命の生存に欠かせない「水と大気」とを恵む存在であることまでも再認識されつつあるからです。もちろん「ヒト」と「モリ」との関係は、その内側に「ヒト」と「ヒト」との関係（つまり商売としての）を含み込んでこそ成立するほかないのですが。しかし、クレオパトラの時代から知られていた石油が「人類最大の資源」になったのは、ほんの二〇世紀になってからのことだったわけで。それを考えれば、セルロースを「生物資源」（バイオマス）として多方面で利用する技術が開発されている今日、限りある鉱物資源を補完あるいは代替する存在、太陽の恵みを受けながら持続可能な循環を作り出す森林（もり）が存在すること、そのかけがえのない貴重さについて、人類はまもなく思い知ることになるのではないか、などとの思いを馳せたからでしょう。

《もくじ》

利用と持続可能な循環について
公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
理事長　菊　池　壯　藏……1
北海道で県外研修
令和元年度森林土木技術研修会……2
台風第19号の暴風雨による災害について…３～６
令和元年度福島県林業コンクール……7
第16回ふくしま森林・林業写真コンクール…7
第70回福島県学校関係緑化コンクール……8
第22回福島県森林組合連合会良質材展示会…8
福島県森林環境税による取組……９～10
第４回福島県きのこ料理コンクールを開催…11
普及指導員通信……12
森連だより……13
林経協だより
第62回東北６県・新潟県林業経営者協会
連絡協議会・新潟県協議会に参加して…14
木の文化を育む⑨……15
木材市況・ふくしま東西南北……16
はなしのひろば・お知らせコーナー……17

北海道で県外研修
令和元年度森林土木技術研修会
福島県森林土木建設業協会

福島県森林土木建設業協会（会長 菅家洋一（会津土建㈱）、会員一六六社）は、会員の災害対応に向けた技術力の向上を図るため、研修会活動を行っております。

近年、集中豪雨や大地震などにより、特定の区域に甚大な災害をもたらすケースが増えています。今年度は発災後の復旧・復興状況を現地研修することを目的に、昨年、北海道胆振東部地震により甚大な被害を受けた北海道厚真町などで、令和元年九月九日(月)～十日(火)に研修会を実施し、十二名が参加しました。

大規模な林地荒廃等の被害が発生した厚真町では、東和地区において北海道が進めている治山事業を視察しました。北海道森林土木建設業協会長 幌村司氏の挨拶に続き北海道林務局治山課治山事業グループ担当者から地震被害の概要、治山事業、倒木集積土場設営について説明を受けました。

【地震被害の状況と対応】

国内の地震の林野分野における被害としては、明治以降最大規模、治山施設、林道等の損壊など被害総額は五一一億円、うち林地（治山）の被害は四九一億円に上る。森林の復旧は、保安林指定を進めながら、治山事業の実施や土砂、倒木により被害を受けた道路、農地などの復旧も併せ集中的に実施し令和二年度終了を目指している。厚真町北部は令和五年までを集中期間として災害のほか一般事業も激甚災にいれて実施する。林地被害（治山関係）一八七カ所を全て終えるのは難しい状況とのことでした。

治山事業

【東和地区(B工区)における治山事業】

昨年十一月に堆積土や倒木の除去など応急工事を実施、また、余震や降雨による再崩壊を防止するため、現在山腹対策工を実施している。主要工法は法枠工であり、令和二年三月完成を目指している。

復旧に携わる事業者は復興ＪＶ(胆振地方の二五社と道内の同数の会社の組合せ）を組んで工事を進めているが、一方では資材が不足しているとの話を伺いました。

【倒木集積土場】

倒木などより出てきた材は、町内の数カ所に集積、管内の木材業者や製紙会社、バイオマス関係事業者と協定を結び現場から土場までは工事関係で運び、木材事業者等が土場から持って行って利用する。

倒木集積土場

材は、土場で丸太、枝条等に分別整理し、丸太は、製材、パレット材など、枝条は、ボイラーの燃料用チップとして活用される。土砂が付いた材は、パーティクルボードに加工できる。

工事関係者にとっては土場までの運搬で済み、工場側では土場まで来れば、無料で材が手に入る。地元にとってよい、非常にうまくいっている事例であると話されていました。

今回の視察は、行程等の関係から被災地の一部の現場に限られましたが、大地震の脅威を実感するとともに官民あげての復興への取組を目の当たりにし、参加した会員とって今後の業務に大いに資する大変有意義な研修となりました。

台風第十九号の暴風雨による災害について

福島県農林水産部次長　飯沼隆宏

このたびの台風第十九号により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました方々にお見舞い申し上げます。

今回の台風は、本県を含む十三都県に大雨特別警報が発令され、土砂災害や河川の氾濫、低地の浸水が相次ぎました（林業福島№６６４　２０１９年11月号ｐ３参照）。激甚災害、特定非常災害（台風としては初）、大規模災害復興法の非常災害（二例目）が適用され、また、災害救助法適用自治体は十一月一日現在で十四都県の三九〇市区町村となり、東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）を超えて過去最大の適用となるなど、非常に大きな災害となりました。

十一月十五日時点における農林水産業の被害総額は、農地や、農業用施設、林地、農作物で約六三六億円にのぼっています。

森林・林業・木材産業における被害は、箇所数で七〇四箇所、被害金額では約八四億円に達しており、その内訳は、山腹崩壊等の林地被害が約十六億円、林道施設災害が約四五億円、林産施設等被害が約二二億円となっております。

今後は被災した林道や治山施設、林業関係施設等の一刻も早い復旧に向け取り組んでまいります。

東日本大震災の復興途上において未曾有の災害を再び受けることになり、皆様にはご心配が多いと思いますが、少しでも安心して生活できるよう努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

林道の被災状況について

■森林整備課

【全県の被害状況】

林道被害は四一市町村、六一四路線、二、三一三箇所、四五億四千万円余りを確認しました。その被害はほぼ県内全域で確認され、林道を管

台風19号　林道施設災害発生状況

方部	市町村名	管理路線数	被害路線数	被害額(千円)
県北	福島市	60	18	53,000
	伊達市	51	31	268,200
	二本松市	42	28	255,300
	本宮市	15		
	国見町	13	3	491,165
	桑折町	13		
	川俣町	16	5	118,300
	大玉村	11		
小計		221	85	1,185,965
県中	郡山市	74	18	9,312
	田村市	98	65	261,423
	須賀川市	44	15	44,430
	鏡石町	4		
	天栄村	21	6	15,580
	石川町	13	4	1,030
	玉川村	4		
	浅川町	4		
	平田村	15		
	古殿町	36	36	259,450
	三春町	11	2	700
	小野町	16	3	400
小計		340	149	592,325
県南	白河市	33	20	193,400
	西郷村	20	4	1,500
	泉崎村	4	2	1,800
	棚倉町	30	17	56,800
	矢祭町	43	7	85,300
	塙町	43	25	43,950
	鮫川村	38	5	3,800
小計		211	80	386,550
会津	会津若松市	21	10	9,650
	喜多方市	66	1	1,400
	柳津町	22	4	58,400
	三島町	18	4	4,100
	会津美里町	29	15	68,700
	猪苗代町	37		
	磐梯町	4		
	北塩原村	9		
	会津坂下町	7		
	西会津町	34		
	金山町	32		
	昭和村	6		
小計		285	34	142,250
南会津	南会津町	126	40	143,749
	下郷町	36	20	196,560
	只見町	42	4	84,500
	檜枝岐村	2	1	15,000
小計		206	65	439,809
相双	相馬市	19	16	300,680
	南相馬市	49	21	437,500
	楢葉町	16	1	26,700
	富岡町	11	3	57,111
	大熊町	17	2	147,800
	双葉町	9		
	葛尾村	13	4	13,400
	新地町	4	2	600
	飯舘村	25	13	19,800
	川内村	34	21	344,261
	浪江町	18	2	6,861
	広野町	13	6	48,700
小計		228	91	1,403,413
いわき	いわき市	285	110	394,070
県合計		1,776	614	4,544,382

※市町村を連絡する路線は各市町村毎に整理。

理する五六市町村の約七〇㌫に及んでいます。

また、各市町村が管理する林道の路線総数（一、七七六路線）の約三五㌫の路線が被害を受け、被害額は過去三〇年間で最も多い額を記録しました。

被害のタイプは、箇所数にして路面洗掘が五七㌫、路体・路側決壊が二六㌫、法面崩壊が一七㌫となっており、路面洗掘の被害が多かったことは、降雨が長時間続いたことや時間雨量で二〇㍉を超える豪雨が続いたことが要因として考えられます。

【被害調査の支援】

被害調査は、広域的な被害であったことや河川氾濫等による生活圏の被害が多く発生したことから、市町村においては生活圏の調査や応急復旧優先による人手不足、アクセス道の通行不能による林道への到達不能、到達が可能でも一路線での多数被害発生による調査時間不足など、被害全容把握が容易でなかったことから、県は「山地災害防止等支援活動に関する協定」に基づき、「福島県森林土木建設業協会」へ被害調査を依頼し、協会員の方々は災害の応急復旧工事による多忙を極めるなか、要望のあった十二市町村の調査を積極的にご支援いただきました。

ご協力いただきました協会員の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

【主な被害状況】

●柳津町「大峯線」《写真１・２》

町内の集落を結ぶ生活道として活用されている路線。路肩が崩落し通行止めとなっています。迂回路は他の林道路線等により確保されていますが、町において早期復旧に向けて取り組んでいます。

●川俣町「松ヶ柴線」《写真３》

町内の集落を結ぶ生活道として活用されている路線。河川護岸の被災により路体が流失しました。

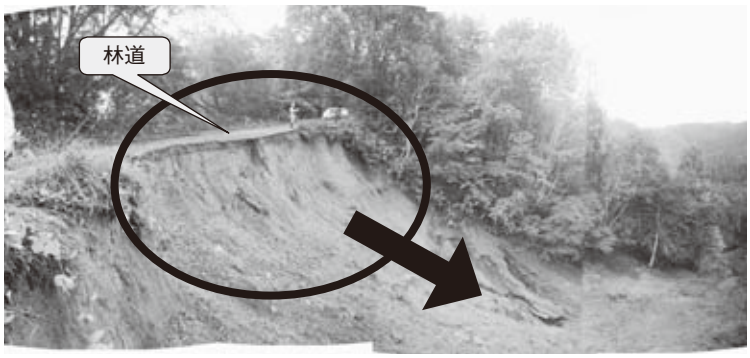
●白河市「桜平大神線」《写真４・５》

山崩れにより一〇〇㍍を超える延長の林道全体が大規模崩壊しており、復旧にあたっては十分な工法の検討が必要です。

【復旧に向けて】

生活道として活用されている路線はもちろんですが、森林の公益的機能維持増進のためのふくしま森林再生事業をはじめとする森林整備の計画的な実施や復興に活用する木材搬出等には、林道が不可欠です。

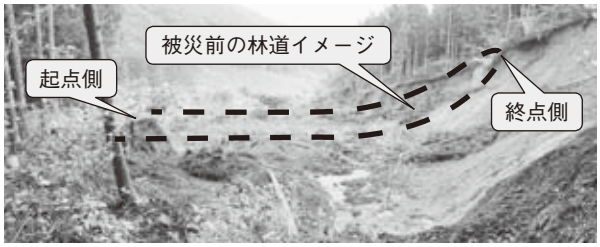
災害復旧工事の実施にあたっては復旧計画作成が必要となりますが、今般の大規模災害においては計画作成に協力可能な測量設計事業者の不



（写真１　路側の崩壊）

（写真２　路側の崩落）

（写真３　路体の流失）



（写真４　林地崩壊に伴う路体の流失）

（写真５　林地崩壊に伴う路体の流失）

足が発生しているため、国や県森林・林業・緑化協会の調整により、他県からの応援を受けつつ、市町村との連携を緊密に行いながら、復旧事業着手への手続きを進めてまいります。

今後の復旧工事実施にあたりましては、地域の皆様や林業関係の皆様のご協力をお願いいたします。

林地の被害状況について

■森林保全課

林地においては、山腹が崩壊し民家へ土砂が流入、土石流により既設治山施設が損壊するなどの被害が、二一市町村、五二箇所で発生し、被害額は十六億三千万円余りに上りました。

【主な被害状況】

●南相馬市原町区大原字川子迫地区

渓流　○・五五キロメートル

山腹斜面が崩壊したことにより土石流が発生し、大量の土砂及び流木が直下の民家等に押し寄せ、家屋の損壊及び負傷者が発生しました。

土石流が発生した渓流には、谷止工、床固工及び護岸工が設置されていましたが、崩壊はその上流部で発生し、土石流により一部が損壊しました。また、渓流内にはまだ大量の不安定土砂が堆積しているため、このままにしておけば、今後の降雨等により土砂や流木が流れ出す危険性が非常に高い状況です。

●相馬市山上字中井塚地区

渓間　○・○八キロメートル

（写真６　南相馬市原町区大原字川子迫地区）

国道一一五号沿いの山腹斜面が崩壊したことにより土石流が発生し、道路脇に設置されていた落石防護柵を押し流し国道に大量の土砂が流出して、通行止めとなりました。

国道一一五号は地域住民の重要な生活道路であることから、早急な対策が必要です。

●福島市土湯温泉町字上猪坪地区

山腹崩壊　○・○五ヘクタール

山腹斜面が崩壊し、道路脇に設置されていた落石防護柵を倒伏させ、下方の市道に大量の土砂が流出して、通行止めとなりました。

このまま放置すれば、今後の降雨等により拡大崩壊し土砂が流出する危険性が非常に高い状況です。

●天栄村大字湯本字下二俣地区

山腹崩壊　○・○一ヘクタール

山腹斜面が崩落し、下方にある人家等の玄関先まで大量の土砂が流出しました。幸い人家等及び人的被害はありませんでしたが、今後の降雨等により拡大崩壊して人家等に土砂が押し寄せる危険性があります。

●いわき市田人町旅人字江尻地区

渓流　○・三キロメートル

複数の山腹が崩壊したことにより土石流が発生し、大量の土砂及び流木が直下の屋内運動場及び国道二八九号に流れ込み、国道二八九号は通行止めとなりました。

国道二八九号は浜通り地方から中通り地方を結ぶ重要な道路であり、地域住民の重要な生活道路でもあります。通行止めにより地域住民の生活や物流に支障を来していますので、早急な復旧が求められています。

国道二八九号は国による権限代行

（写真７　相馬市山上字中井塚地区）

（写真８　福島市土湯温泉町字上猪坪地区）

（写真９　天栄村大字湯本字下二俣地区）

（写真10　いわき市田人町旅人字江尻地区）

事業として、国土交通省が復旧することになりましたが、道路以外の山林内での応急対策については、国有林及び民有林の関係部局と現在調整中です。

【復旧方針】

今回の災害で被害を受けた箇所については、県民の安全を確保するとともに、住宅等を保全するために積極的に治山事業を実施していく予定です。

（一）　治山施設災害復旧事業

県が管理する治山施設が被災した場合に行う事業です。

●南相馬市原町区大原字川子迫地区

破壊された谷止工を改修し、不安定土砂を撤去して山脚の固定を図り、森林基盤の安定を図ります。

●福島市土湯温泉町字上猪坪地区

崩壊部が拡大しないように、法枠工及び緑化工を施工して山腹の安定を図り、落石防護柵を再設置して市道の保全を図ります。

（二）　災害関連緊急治山事業

災害により新たに発生し、又は拡大した荒廃山地などに当該災害発生年に緊急に行う復旧整備に係る保安施設事業です。

●相馬市山上字中井塚地区

谷止工を新たに設置し、不安定土砂を撤去して国道等の保全を図ります。

（三）　林地崩壊防止事業

激甚災害法により激甚災害として指定された災害において、集落等に隣接する林地に崩壊等が発生し、人命財産等に直接的危害を及ぼすおそれがある箇所について、林地の保全上必要な施設を新設し再度災害を防止するための事業です。

●天栄村大字湯本字下二俣地区

崩壊部が拡大しないように不安定な斜面を除去するなどして緑化を図り、擁壁等を設置して人家等の保全を図ります。

【早期復旧に向けて】

台風一九号による被害では国道一一五号及び国道二八九号が通行止めになるなど、県民の生活に大きな支障を来している状況です。早急に対策を図り、一刻も早く県民の生活が元に戻るよう努めていきます。

《お知らせ》

農林水産部として各農林事務所企画部に「台風十九号災害に関する相談窓口」を設置し、技術対策、支援制度等について相談対応を行っておりますが、お困りのことがありましたら、お近くの農林事務所森林林業部又は、富岡林業指導所にご連絡ください。

また、「台風十九号による災害からの農林水産業復旧の手引き」をホームページに掲載しております。(https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/)

今後、状況の変化に合わせて、内容を随時更新してまいります。災害復旧や経営再開にお役立てください。

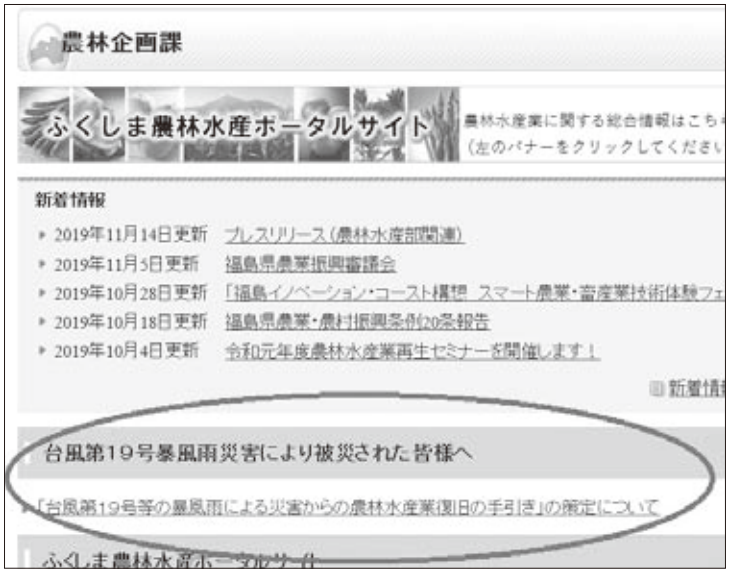


図２　農林水産業復旧の手引きを掲載したホームページ

令和元年度

福島県林業コンクール

福島県林業振興課

福島県林業コンクールは、林業技術の向上と林業経営の改善を図り、本県林業の発展を推進することを目的として開催しています。

今年度は、十二件の応募があり、林業振興課職員等による現地審査の後、十月八日に森林・林業関係団体等の代表者からなる審査委員会を開催し、各賞の受賞者を決定しました。

本格化する主伐後再造林の低コスト化が重要となる中、今年度は山林苗畑部門での応募数が多く、技術向上に対する関心の高さが窺えました。林業コンクールについても時代の要請に応えられるよう見直しを図りながら林業経営者の方々に奮起していただけるきっかけとなるよう、これからも開催してまいります。

山林苗畑部門県知事賞の苗畑（有限会社上原樹苗）

部門別表彰者

一　山林苗畑部門

福島県知事賞　有限会社上原樹苗

福島県農林種苗農業協同組合代表理事組合長賞　古川　一男

福島県森林組合連合会代表理事会長賞　有限会社加藤樹苗園

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会長賞　株式会社野尻緑産

二　造林部門

福島県知事賞　白浜　剛

三　枝打部門

福島県知事賞　藁谷　満雄

四　間伐部門

福島県知事賞　関根　秀男

福島県木材協同組合連合会長賞　渡部　光孝

福島県森林組合連合会代表理事会長賞　上三坂区長　永山　肇一

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会長賞　本多　文雄

農林中央金庫福島支店長賞　熊野神社　代表　君島　義範

福島県林業経営者協会長賞　大森キサ子

第十六回

ふくしま森林・林業写真コンクール

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

ふくしま森林・林業写真コンクールは、森林の大切さとそれを支える林業の重要性を県内外に広く発信することを目的に、毎年度開催しています。

本年度の応募人数は四二人、応募作品数は九四点と多数の応募があり、九月二六日、県写真連盟高橋良雄様を審査委員長に、県及び林業団体で構成する審査委員会において厳正に審査し、入賞作品を決定しました。

入賞作品は、十一月一日(金)から七日(木)まで県庁連絡通路に展示し、写真を通して頑張る林業の姿を広くPRしました。

今後は「林業福島」の表紙に適宜掲載してまいります。

県庁連絡通路で展示

（最優秀賞、優秀賞及び特別賞の入賞者）

賞の種類		入賞者		
区分	賞名	市町村	氏名	題名
最優秀賞	福島県知事賞	いわき市	柏舘　健	山林の手入れ一休み
優秀賞	公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会長賞	福島市	菊地　美雄	朝霧の植樹祭
		福島市	涌井　礼子	男の仕事
		郡山市	小田島守明	炭出し
特別賞	一般財団法人福島県林業会館理事長賞	白河市	近藤　広章	里山の春

第七〇回 福島県学校関係緑化コンクール

福島県森林保全課

当コンクールは、児童・生徒の緑化活動及び学校における環境教育の一層の推進を図るため、福島県及び福島県教育委員会の共催により毎年開催しています。今年は十件（学校林等活動の部三件、学校環境緑化の部七件）の応募があり、県審査委員会による審査により、表彰者を決定しました。

このうち、最優秀賞（県知事賞）は次のとおりです。

1　学校林等活動の部

・会津若松市立湊小学校

猪苗代湖に流れ込む、原川の水源地となる学校林において下刈りや除伐作業に取り組むとともに、河川の生き物調査や猪苗代湖の水質調査を行うなど、森林の役割や森林環境の大切さを学んでいます。

学校林での活動の様子
（会津若松市立湊小学校）

2　学校環境緑化の部

・磐梯町立磐梯第一小学校

学校環境緑化を通して「豊かな心」を育てるために、学年の花壇づくり、野菜栽培、森林環境学習、委員会ボランティア等の取組を行いながら活動し、ＰＤＣＡサイクルを取入れる事により年々課題が改善され活動が充実しています。また、関係団体と連携して地域を知る森林環境教育を学んでいます。

学校環境整備の様子
（磐梯町立磐梯第一小学校）

第二二回 福島県森林組合連合会良質材展示会

福島県森林組合連合会

去る十月十七日、いわき木材流通センターにおいて開催いたしました。

この行事は、林野庁、福島県、関東森林管理局、福島県木材協同組合連合会からのご後援をいただき、毎年当センターの記念市と同時に開催しております。

生産技術の改善向上や木材品質の向上、福島県産材の優秀性を広く紹介すること、また木材需給の安定に寄与することを目的に開催回数を重ねてまいりました。

審査は十月十一日、当センターにおいて福島県、福島県木材協同組合連合会、買方者代表の方々にご協力いただき、県森連の計五名が行いました。

「審査の流れ」

第一次審査　材の数量規定、造材技術や商品価値を満たしているかなどを審査します。

第二次審査　第一次審査で選出された材について、審査員が表１の基準により材種及び材種区分ごとに審査し、各賞を決定します。

今年度の審査結果につきましては、表２「受賞者名簿」のとおりとなっております。

ご出展いただきましてありがとうございました。

また、これまで良質材展示会の開催を続けてこれましたのも、出荷者、買方者の皆様のご協力並びに関係機関のご指導ご協力があってのことと、この場をお借りし改めて感謝申し上げます。

当センターは、流通施設としてＳＧＥＣ／ＣｏＣ認証を取得するなど県内森林組合系統の唯一の木材市場として、買方者の皆様に福島県産材を安心してお求めいただけるよう、供給体制の強化に全力で努めてまいりますので、今後も当センターをご利用下さいますようお願いいたします。

（表１）審査基準

審査項目	審査対象
育林技術	節の有無・大小
	年輪幅
	材の曲がり
	材のまる身・偏心
	材の光沢・色彩
造材技術	枝はらい
	材の切断面
	延寸
総　合	商品価値・市場性

（表２）「受賞者名簿」

賞　名	受賞者名	樹種	長級(m)	径級(cm)
林野庁長官賞	いわき市森林組合 代表理事組合長 田子　英司	スギ	3.00	18－20
福島県知事賞	ふくしま中央森林組合 代表理事組合長 水野　郁夫	スギ	4.00	42－44
関東森林管理局長賞	㈲水野林興 水野　武雄	スギ	4.00	40－50
福島県木材協同組合連合会長賞	水野　悦男	スギ	3.65	34－44
福島県木材協同組合連合会長賞	阿部　好春	スギ	4.00	44
福島県森林組合連合会長賞	加藤　義男	スギ	3.65	40－42
福島県森林組合連合会長賞	熊谷　寿雄	スギ	4.00	40－48
福島県森林組合連合会長賞	大原林業 代表　水野　郁夫	スギ	3.65	42－56

福島県森林環境税による取組

～森林環境の保全と森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成に向けた取組～

福島県農林水産部森林計画課

１　はじめに

福島県では、県民共有の財産である豊かな森林を守り育て、次世代に引き継ぐため、平成18年度から森林環境税を導入し、「県民一人一人が参画する新たな森林（もり）づくり」に取り組んでおります。

県民の皆様に支持されながら、様々な事業に活用してきたこの税制も、今年度で14年目を迎え、令和２年度は第３期の最終年度となります。

そこで、これまでの取組内容について、今月号から３ヶ月に渡って皆様に紹介させていただきます。

２　森林環境税の創設

従来の森林･林業施策は、森林所有者による林業経営を助長することにより森林環境の保全を促進し、もって、森林の持つ多面的機能が確保できるという考えに基づいていました。

しかし、昭和55年以降は、木材価格の長期的な下落が続き、山村の人口減少などにより、もはや、林業生産活動を通じて森林を管理する仕組みが立ち行かなくなっていました。

そこで、森林と人との理想的な関係＝「森林（もり）との共生」の理念に基づく循環型社会の実現に向け、「うつくしま森林・林業・木材産業振興プラン21」が策定されました。

また、平成15年度には「森林（もり）との共生を考える県民懇談会」を設置し、「県民一人一人が参画する森林（もり）づくり」が提言され、平成17年11月には、森林（もり）づくりの目標や基本理念を明確にし、森林と人との共生関係が実現された森林文化にあふれる郷土づくりの実現に向けて「森林文化のくに・福島県民憲章」が制定されました。

平成18年４月１日には「福島県森林環境税条例」が施行され、森林所有者や林業への助成という従来の枠組みを越え、県民参画という新たな視点での取組がスタートしました。

３　森林環境税を活用したさまざまな取組

森林環境税を活用した取組については、県民が様々な形で参画でき、将来に向けて持続し、県民が森林との関係を再構築することが重要です。そのため、「森林環境の保全」、「森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成」という２つの基本目標を掲げ、７つの施策分野に取り組んでいます。

図－１は７つの施策分野の事業費の推移を示しています。７つの基本的な柱は同じでも、時代のニーズを取り込み、施策分野の配分割合も変化していることがよくわかります。

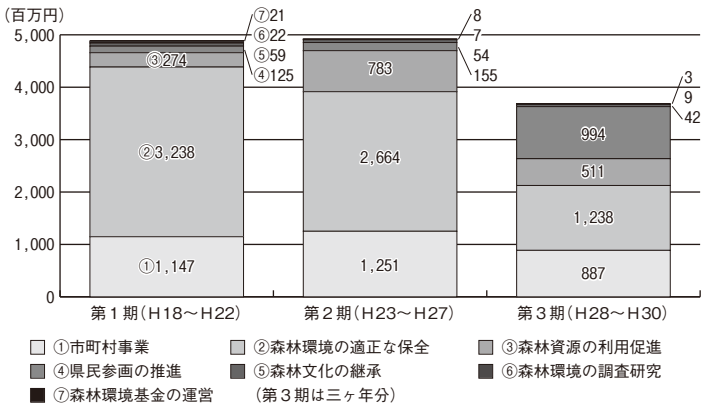
次に、７つの施策分野における取組について、事業内容や実績を紹介します。

⑴　森林環境の適正な保全

公益的な機能が特に高い区域内の、荒廃が心配される森林において実施する森林整備や既設作業路の改良などを支援する「森林整備事業」や、森林資源を適正に管理するための森林情報を電子データ化するシステムを開発運営する費用などに活用しています。平成18年度から平成30年度までの13年間で、27,564haの森林整備が行われました。

また、第３期には、「里山林整備事業」が新規に追加されています。この取組は次号以降に紹介します。

図－１　森林環境税　施策分野別実績（第１期～第３期）



写真－１　森林整備事業実施状況

⑵　森林資源の活用による持続可能な社会づくり

この施策分野は、間伐などの森林整備により林内に放置されていた利用価値が低い材の運搬経費や林内作業路の開設を支援することで、森林資源としての利活用を促進します。バイオマス資源としての利活用を促進するため、ペレットストーブなどの木質燃料ストーブの導入も支援しました。これら一連の取組により、以前は林内に放置されていた材が26万㎥も搬出され活用されました。

また、住宅への県産材利用促進のためのポイント交付事業や、児童、生徒などが木材製品に接する機会「木育」を創出する取組や、福島県産材を世界にアピールするため、2020年東京オリンピック関連施設で使われる木製ベンチなどを提供する取組も行っています。このベンチはオリンピックレガシーとして県内の公共施設などで再利用されます。

⑶　市町村が行う森林（もり）づくり等の推進

この施策分野では、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境税納税額の概ね３割程度を市町村に交付しています。市町村が森林（もり）づくりを継続的に行うための財源として交付する「森林環境基本枠」と、市町村が提案する独自の取組に対し交付する「地域提案重点枠」の２つの事業があります。この取組についても、次号以降に紹介します。

⑷　県民参画の推進

この施策分野では、森林環境学習の森の整備や、「もりの案内人」「グリーンフォレスター」といった森林（もり）づくり指導者の養成、森林ボランティア団体の活動支援など、場の提供や指導者の養成、受け入れ団体の支援といった側面から県民参画を推進します。「もりの案内人」は559名、「グリーンフォレスター」は124名を養成し、県内各地域で小中学校の森林環境学習や森林整備活動時の安全管理指導などを行っています。

また、第３期における大きな取組の一つとして、上皇上皇后両陛下のご臨席の下、開催された第69回全国植樹祭があげられます。開催理念は、ふくしま植樹祭へと引き継がれました。

⑸　ふくしまの森林文化の継承など

中通り・会津・浜通りの３地方それぞれに特色ある森林を背景に、森林と人との密接なかかわりの中で、森林文化が県内各地に育まれ、私たちの自然観や価値観などに大きな影響を及ぼしてきました。

この森林文化を改めて見直し、県民の財産として次世代に引き継いで行くため、この施策分野では、森林環境税を活用して調査や様々な取組を行っています。この取組により20本の森林文化記録映像を制作しました。

この他に、県民に身近な森林の現況や幼稚園等に導入した木製設備の使用状況を調査・発信する「森林環境の調査」、森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するため、森林（もり）の未来を考える懇談会に意見や評価をいただく「森林環境基金の運営」の２分野を含め、７つの施策分野により森林環境税を活用しています。

４　おわりに

森林環境税を財源として、２つの目標を掲げ、７つの施策分野による取組で基本理念「豊かな森林文化のくに・ふくしまの創造」の実現を目指してきました。

次回、新年号と２月号では、第１期から第３期、それぞれの課税期間における特徴的な取組について、紹介していきます。

第４回福島県きのこ料理コンクールを開催

公益社団法人　福島県森林・林業・緑化協会　きのこ振興センター

本審査調理会場の様子

第４回福島県きのこ料理コンクールの本審査と表彰式が、令和元年11月16日(土)に郡山市安積総合学習センターで開催されました。同コンクールは、食用きのこについての正しい知識とその利活用の普及啓発により、県民の健康増進に寄与するとともに、きのこ産業の振興を図るために開催されているもので、当協会の主催として今年で４回目となります。

今年の応募総数は177点（うち高校生120点、大学生51点）となり、その中から最優秀賞である県知事賞１点を決定しました。当協会で委嘱した５名の審査員により、10月30日に書類による１次審査が、11月16日には調理の実技を伴う本審査が行われ、７名の方の入賞が決定しました。今回の本審査出場作品は、全ての作品できのこの種類をたくさん使用しており、季節に合わせたテーマや食材を取り入れる等の様々な工夫が感じられました。また、審査員へ向けた出場者のプレゼンテーションでも上手にPRされており、日頃の成果が充分に発揮されていました。主催者として次回コンクールでは、さらに多くの皆様にご参加頂けるように取り組みたいと思います。

なお、今回、県知事賞を受賞した滝沢結衣さんにつきましては、福島県代表として令和２年３月13日に東京都内で開催される第33回きのこ料理コンクール全国大会への出場を推薦することとなります。

受賞者一覧

	作　品　名	氏　名	職　業
県知事賞	福島発　きのこ　あら！？　茶わん蒸し	滝　沢　結　衣	福島県立あさか開成高等学校３年
優 秀 賞	ジューシー肉厚肉詰めしいたけ	矢　部　若　菜	郡山女子大学附属高等学校３年
優 秀 賞	舞い茸、オリンピックに舞う	室　井　つな子	地方公務員
特 別 賞	おからカラカラきのこ揚げ	武　田　萌　英	郡山女子大学附属高等学校１年
奨 励 賞	きのこの冷製ポタージュ ～きのこのニョッキ入り～	佐々木　莉　穂	郡山女子大学附属高等学校１年
奨 励 賞	きのこソースがけミートローフ	上　野　桃　香	郡山女子大学短期大学部１年
奨 励 賞	きのこたくさん小籠包	今　井　美瑠姫	郡山女子大学１年

滝沢結衣さん　県知事賞受賞作品
「福島発　きのこ　あら！？　茶わん蒸し」

表彰式後の記念撮影

普及指導員通信

森林整備事業等における安全・精密・迅速な伐木造材技術の普及について

福島県県中農林事務所
林業普及指導員　飯　沼　良　弘

本県の林業労働災害発生状況は、平成31年１月から令和元年10月末まで23件（速報値）と昨年同時期の34件を下回っている。しかし、10月31日と11月３日に連続して伐採作業中の死亡事故が発生しており、今後、森林整備事業等における伐採作業が本格化することから、林業労働災害防止対策の徹底が必要となっている。

県中地方においても、平成30年に森林整備事業に関連する林業労働災害が３件発生した。うち１件はチェーンソー防護衣の未着用による被災、もう１件はチェーンソーのキックバックによる被災となっており、伐木造材作業における法令や規則の遵守と基本動作の徹底がいかに重要かを痛感したところである。

このため、森林整備事業を実施する林業事業体、市町村職員、林業普及指導員を対象に「森林整備における伐木造材研修会」を令和元年12月２日(月)に開催することとした。

講師は、本県から初めて日本伐木チャンピオンシップ（以下JLC）に出場したザ・フクシマロガース※1代表の秋山健人氏（棚倉町在住）に依頼した。

JLC出場選手は、競技を通して確実な安全動作と正確で迅速なチェーンソー操作を身につけ、全国各地で研修会の講師として活躍しており、JLCは実践と理論を併せ持った講師の養成にも貢献している。

今回の現地研修では、JLC競技で実践されている伐木造材作業について、安全・精密・迅速な作業のデモンストレーション、安全動作の確認、正確に作業するポイント、JLC競技トレーニング方法、ソーチェーン目立てなど講師の秋山氏から実践的に指導していただく予定である。実施結果は、今後県中農林ニュース等でお知らせしたいと考えている。

本県におけるJLC競技選手は、現在のところ少数である。このところ林業関係雑誌等においてJLCの話題が取り上げられることが多くなってきたが、本県において、JLC競技を実際に見る機会や体験できる機会は少ないと言わざるを得ない。このため、講師が代表を務めるザ・フクシマロガースは、令和元年度フォレスト助成金の採択を受け、「ザ・フクシマロガースJLCトレーニング」を近々開催する予定である。JLCに出場するためのノウハウ共有や実際の競技が体験できる貴重な機会となるので、興味のある方は是非参加をお願いしたい。

JLC競技は、実に奥が深く、すべての技術が実際の現場に活かされると言っても過言ではない。全国にはJLC競技に熱く取り組む競技者が数多くおり、私自身も大会やトレーニングで交流するたびに刺激を受けている。

JLC競技者の拡大は、森林整備事業等における安全・精密・迅速な伐木造材作業の普及を推進するために有効な手段である。JLC競技者が県内各地で実践と理論を併せ持った講師として活躍することを目指し今後も普及に取り組むとともに、自らも第４回JLC 2020に出場し伐木造材技術の研鑽に努めたいと考えている。

左：JLC で使用されるチェーンソー70.6cc　右：50.1cc

※１　ザ・フクシマロガース

安全・精密・迅速な伐木造材技術の普及指導とJLC競技選手の支援と拡大を目的に活動している任意団体（平成30年１月設立）

森連だより

「全国森林組合代表者大会開催される」

福島県森林組合連合会

令和元年十月十七日、東京都内のメルパルク東京において、全国森林組合連合会（以下、「全森連」）が主催者となり開催されました。

開催にあたっては、本県においても甚大なる災害に見舞われた台風十九号の発生直後であり、全国規模の大会の開催については一時中止も検討されましたが、全国の森林組合が一堂に会し、決意を新たにするためにとの開催となりました。

被害に遭われた皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

大会当日は、全国から約七〇〇人が参加し、江藤拓農林水産大臣のご臨席を賜り、村松二郎全森連会長のあいさつでは、「系統の長年の要望であった森林環境譲与税の創設、森林経営管理法が制定されるなど新たな仕組みが整備されたことに感謝する、また台風の災害発生に伴い、系統一丸となりこの事態を乗り越えていくために二〇一九年台風災害復旧・復興に係る緊急要望を提案したい。」と述べられました。

つづいて行われた表彰では、林野庁長官表彰（受賞者一名）、全森連会長表彰（受賞者一九二名）が組織・系統の発展や長年の功績のあった方々に対し贈られました。

本県では下記の十名が受賞されました。

◎全森連会長表彰

感謝表彰（職員）

会津若松地方森組　渡部　発揮

会津若松地方森組　菅井　善麿

功労者表彰（役員）

いわき市森組　田子　英司

功労者表彰（職員）

ふくしま中央森組　瀬谷　美斗

いわき市森組　中村　寛寿

功労者表彰（現場技能者等）

田村森組　大和田貴之

田村森組　渡辺　一皓

会津若松地方森組　齋藤　雄

会津若松地方森組　芳賀　孝幸

只見町森組　五十嵐一貴

受賞者の皆さまの長年に亘るご尽力と数々のご功績に対しまして、深甚なる敬意を表します。

村松会長あいさつ

大会では、「意見表明」として、「森林経営管理制度による森林資源の適切な管理・利用の推進について」鹿児島県森連　野村輝明代表理事専務と「就労環境改善を通じた担い手の確保・育成について」鳥取県東部森組　嶋沢和幸組合長が発表を行いました。

結びには、大会決議が読み上げられ、拍手により満場一致の賛同を受け、大会が終了いたしました。

大会決議は、以下のとおりです。

1. 主伐後の再造林の確実な実施を通じた森林資源の循環利用の推進、国土保全等森林の公益的機能の発揮に必要な森林整備予算の大幅な拡充
2. 森林経営管理制度の円滑な実施と森林組合・連合会の事業連携強化・経営安定化のための取組強化
3. 労働安全対策推進や就業環境改善とともに「緑の雇用」事業、森林施業プランナー育成対策事業等による人材の確保・育成
4. 新技術の導入・定着による林業生産性向上と都市の木造化や輸出推進等による木材需要拡大
5. 「ＪＦｏｒｅｓｔ森林・林業・山村未来創造運動」及びＳＤＧｓ実施取組の推進

翌十八日は、県内森林組合長および連合会役職員による福島県選出国会議員への要望活動を行い、本県の森林林業の復興に向けた更なるご支援を要請いたしました。

第六十二回 東北六県・新潟県林業経営者協会 連絡協議会・新潟県協議会に参加して

福島県林業経営者協会
会長　小野好郎

第六二回東北六県・新潟県林業経営者協会連絡会議が、令和元年十月十六日(水)～十七日(木)に関係県の林業経営者協会会長ら二五名が参加し開催されました。今般の台風十九号に伴う記録的な豪雨、河川の氾濫、土砂災害等により被災され、欠席された会員の皆様に心からお見舞い申し上げ、被害状況の把握をはじめ復旧に向けての対応に尽力されている会員の方々に深く敬意を表します。そして、一日も早い安心と穏やかな暮らしを取り戻すことを願う次第です。

さて、第一日目（十月十六日）現地視察コースの新潟県森林組合連合会木材市場において優良木材展示会の出材も台風接近の困難な中での出荷者の説明等を聞き、宿泊先、月岡温泉「白玉の湯・華鳳」会場にて協議会を㈠開会、㈡新潟県会長の挨拶、㈢先催県の福島県より第六一回協議会の経過報告、㈣次期開催県の決定（山形県（了承））と続き、㈤中央情勢について日本林業経営者協会の山崎信介専務理事より説明がありました。

平成三〇年六月に公布された森林経営管理法は平成三一年四月一日に施行され、「新たな森林管理システム」がスタートし、森林所有者の森林管理に対する責務を明確にするとともに、森林所有者自らが管理できない森林については、市町村が集約し、意欲ある事業者に委託できる等、「森林経営管理制度」の説明、質疑応答が行われました。

また、日本林業経営者協会青年部のワーキングチームで議論を重ねてきた「今後の森林管理・林業経営に向けた提言」についての説明がありました。来年一月に政策提言書としてまとめる予定で、今回はこれまでの議論の中間報告です。現状分析では、木材自給率は平成十四年に一八・八㌫で底を打ち、平成二八年には三四・八㌫まで回復した。しかし山林を所有し、造林・育林・伐採を行っている山林所有者を取り巻く環境は益々厳しさを増している。木材価格の低迷や過疎化などを背景に、林業の担い手の減少傾向は続き、手入れもされずに放置された森林の管理が問題になり、防災や水源確保、温室効果ガス削減などの森林が持つ機能を維持し、林業を盛り上げるにはどうすべきか？

国土の三分の二が森林で、うち七割は民有林です。今日、森林・林業には多くの期待がなされている中、地球規模の天候異変の原因の一つが地球温暖化によることは明らかであり、森林・林業・木材産業が果たすべき役割は大きいものがあります。このところ、後継者難や収益難を背景に地域の取引先事業所の廃業が目立ちますが、これでは山に収益が還元できず、循環林業を実現できなくなります。川上と川下が協業して、この難局を乗り越えていこうと話し合いながら、十月一七日に散会となりました。

新潟県森林組合連合会木材市場の優良木材展示会

木の文化を育む⑨

五感で楽しむ木工ワーク（郡山女子大学 建築デザインコース）

郡山女子大学 人間生活学科 建築デザインコース 准教授 阿　部　恵利子

○はじめに

福島県国見町では、毎年「石工（ロック）フェスin石蔵」と称して、町内のＪＡふくしま未来小坂支店の石蔵において、国見石を存分に活用した「食べて・遊んで・学ぶ」を体験できるイベントを開催しています。今年も多くの親子連れがワークショップをはじめ様々な催しに足を運び、国見石の石窯ピザやかまどご飯などが振る舞われ、盛況のうちに終了しました。

○女子大生によるイベントの運営

このイベントでは、郡山女子大学人間生活学科建築デザインコースの学生が、石切り・石加工体験や石蔵模型の展示など各ブースを主体的に運営し来場者に国見石の魅力を伝えるとともに、〝Ｍｙ箸づくりに挑戦！～五感で楽しむ木工ワーク～〟をテーマに福島県産材を活用した箸づくりを実施しています。この木材加工ワークショップは地域住民の方々を対象に、福島県産材を活用したモノづくり体験をとおして、五感で木の良さやモノづくりの楽しさを体験し、県産材の利用促進を図ることを目的としたものです。

○Ｍｙ箸づくりに挑戦！

大工道具のカンナを使用して、県産材の杉を削り、箸に変わるまでの一連の工程を老若男女の地域の皆さんに体験してもらえたことは、大変有意義な時間となりました。特にカンナを使用したことのない子ども達はカンナを動かすたびに杉材が削れていく様子を楽しそうに目にしながら、慣れない作業で時折「疲れたぁ～」と口にしながらも、最後までやりとげ、Ｍｙ箸を完成させました。モノづくりの楽しさと完成させた達成感を得ることができた様子でした。子どもに限らず、大人もカンナを上手に使用してＭｙ箸を削り、仕上げは蜜蝋でツヤを出し、完成させました。

○まとめ

福島県には、木材や石材など歴史的に価値ある財産が沢山あります。温故知新の精神で、歴史ある文化を継承していきたいと思います。

【木育ひろば〝つながる～む〟】

国見町では、道の駅構内に東北初の木育ひろば「つながる～む」を設置しており、天候に左右されず、屋内にて親子で木のおもちゃを使用し遊ぶことができます。同広場は入場無料で、町外・県外の方も利用できます。また、子育て支援センターには常時保育士がおり、育児や子育てに関する相談を随時行っております（町外の方も対応可）。ぜひ、ご利用下さい。

イベント大成功～♪

木育ひろば　つながる～む

My箸づくりに挑戦！

木材市況

八月の原木市場への入荷量は、前月比一四パーセント減（前年比九パーセント減）の一八、七〇九立方メートルとなっている。

販売量は、前月比一五パーセント減（前年比一二パーセント減）の一八、九三一立方メートルとなっている。

九月の価格は杉柱取りの引き合いは強まっているものの、全体的には弱保合いとなっている。

素材の価格〈工場着価格〉（2019年９月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～9	4.00	並	スギ	10（9～10）	0	（0～0）		9（9～9）	△1	9（9～10）	△1
		10～14		並	スギ	12（12～13）	0	（0～0）		12（11～13）	0	12（11～13）	0
	中	14～22	3.00	並	スギ	12（10～13）	0	13（13～13）	2	12（12～12）	0	12（10～13）	0
				並	ヒノキ	19（16～22）	0	（0～0）		15（14～15）	0	17（14～22）	0
			6.00	並	スギ	16（15～17）	0	10（10～10）	△3	18（17～18）	1	16（10～18）	1
				並	ヒノキ	30（25～35）	0	（0～0）		23（20～25）	0	26（20～35）	0
		20～28	3.65	並	スギ	11（10～12）	0	11（10～12）	0	12（11～13）	0	11（10～13）	0
			4.00	並	スギ	11（11～12）	0	11（11～11）	0	12（11～13）	0	11（11～13）	0
				並	アカマツ	9（7～12）	0	（0～0）		10（9～10）	0	9（7～12）	0
			1.80	並	アカマツ	8（5～11）	0	（0～0）		8（8～9）	△1	8（5～11）	0
外材	米材（定尺）	30以上	10.00	並	米ツガ	（0～0）		（0～0）		30（30～30）	0	30（30～30）	0
				並	米マツ	（0～0）		30（30～30）	△9	28（28～28）	0	29（28～30）	△5
	北洋材（定尺）	28以下	3.80	並	エゾマツ	（0～0）		（0～0）		25（25～25）	0	25（25～25）	0
			4.00	並	アカマツ	（0～0）		（0～0）		25（25～25）	0	25（25～25）	0
				並	カラマツ	（0～0）		（0～0）		25（25～25）	0	25（25～25）	3
パルプ用材				並	マツ	7（7～7）	0	（0～0）		7（7～7）	0	7（7～7）	0
				並	広葉樹	10（10～10）	0	（0～0）		（0～0）		10（10～10）	0

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	（0～0）		7（6～9）	0
	13～14		並	カラマツ	12（11～12）	0	8（7～9）	△1
	16以上		並	カラマツ	14（13～15）	0	10（9～10）	1

注）1．前月差の△印は値下りを示す。
2．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
3．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

みちのく福島路ビール

いわき農林事務所　黒澤文彦

先日、福島の地ビール「みちのく福島路ビール」なるものを初めて飲んだのですが、それがあまりにも美味しかったため紹介したいと思います。近所のスーパーで四種類ほど取り扱っており、前々から気になっていたので今回思い切って全部買って飲んだのですが、中でもダントツで美味しかったのが「米麦酒（マイビール）」と「ピルスナー」でした。「米麦酒（マイビール）」は、福島県産米「ひとめぼれ」と県オリジナル清酒酵母「うつくしま夢酵母」を使用しているビールとのことで、飲んでみると、すっきりしたビールの味がするとともに、かすかな米（日本酒）の味が口に広がります。「ピルスナー」は苦みがしっかりとした濃厚なビールといった感じで、ビール好きであれば気に入る味だと思います。そのほかの「レッドエール」と「ピーチエール」についても、味に個性があり、美味しく飽きずに飲めました。今回飲んだのは四種類のみでしたが、「みちのく福島路ビール」の商品は他にもたくさんあるので、今後少しずつ手を出していくつもりです。また、福島市に工場併設のバーがあるとのことなので、今度行ってみたいと思います。皆さんもぜひ「みちのく福島路ビール」飲んでみてください。（米麦酒（マイビール）は本当におすすめです）

はなしのひろば

障子

築四五年の我が家は、切妻屋根の木造建築である。縁側、濡れ縁、軒下があり、全室畳で障子、襖である。

しかし、戦後住宅事情が変わり、洋風化が進み、畳からフローリングとなり、障子はサッシ戸に、襖はドアに代わった。もちろん縁側や軒下も減り始めた。が、一見無駄だと思えるこの空間を、ある建築家は「曖昧な妙」と表現した。日本人の住まいへの思いと知恵をよく表現した言葉で、余白の美を好む日本人らしい空間であり、そんな気持ちで縁側に座ると内から外へ向かって、ひと呼吸おける空間のような気がしてきた。

最近、「江戸東京たてもの園」（東京都小金井市）を訪れた。文化的価値の高い建造物を移築保存しており、その数は三〇棟にも及ぶ。それぞれ玄関を入ると、襖を開けはなした各部屋は一つの大広間になり、白い障子からは晩秋の光が差し込んでいた。その光の柔らかさと静けさに目も心も奪われる。建築家清水一氏の「紙を材料とした日本人の製作の中での傑作は襖と障子だ」との言葉を思い出す。杉の桟と和紙と糊でできている障子のこの軽やかさがいい。木造家屋にはよく似合う。

今年は、新しい時代の幕が明け、時はすでに師走である。家を見渡すと色のふけた障子が目につく。障子の張替えをして気持ちよく年を越し、来る年を迎えてみたくなった。

新しく白い障子は、穏やかな光を迎え入れてくれるだろう。

どうぞ皆様も、心新たに「来る年」へのご準備を。

（都）

表紙の写真

「炭出し」

第16回ふくしま森林・林業写真コンクール
優秀賞（県森林・林業・緑化協会長賞）
受賞者　小田島守明さん（郡山市）
撮影場所：鮫川村
コメント：焼き上がった炭を籠に入れて窯出し準備する様子を撮影しました。

編集　福島県
福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
発行　（福島市中町五番一八号県林業会館内）
水戸　典明
発行人　陽光社印刷株式会社
（定価　一一〇円）

お知らせコーナー

福島県森林環境税に関するアンケートのご案内

～県民の皆さんのご意見をお聞かせください～

本県は、豊かな森林を守り育て、未来の子どもたちに引き継いでいくため、平成18年度より森林環境税を導入し「県民一人一人の参画による新たな森林（もり）づくり」を進めています。

これまで、間伐などの森林整備による森林環境の保全と、森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成に取り組んでおり、手入れが行き届かなかった水源区域などの森林整備や、子どもたちへの森林環境学習などに取り組んでいます。

つきましては、今後の森林環境税の取組の参考とさせていただくため、県民の皆様からの貴重なご意見をお聴かせください。

【実施期間】　令和元年10月24日から12月25日まで

【回答方法】　県の合同庁舎内　各農林事務所森林林業部、及び富岡林業指導所、県内各市町村役場窓口にて配布しているアンケート用紙にご記入いただくか、パソコン、スマートフォンで福島県ホームページの森林環境税コーナーからご回答いただけます。
スマートフォンは右の二次元コードを読み取ってください。

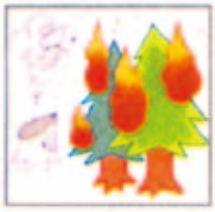
福島県森林環境税に関するアンケート　検索

【お問い合わせ先（電話番号）】

○福島県　農林水産部　森林計画課：024－521－7425
○福島県　農林事務所　森林林業部
県　北：024－521－2632　県　中：024－935－1367　県　南：0247－33－2123
会　津：0241－24－5734　南会津：0241－62－5375　相　双：0244－26－4305
いわき：0246－24－6193　富岡林業指導所：0240－23－6084

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災
山火事で受けた損害

2 風害
暴風による根返り、幹折れなどの損害

3 水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害
大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害
乾燥による枯死などの損害

6 凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹

または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ

GP-35B グラップルプロセッサ

IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ
- 最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- 全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- 大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

最新の GP-8 コントローラを搭載
- 5.7 インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
- 感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
- A,B,C,D の 4 コード毎に 4 種類、合計 16 種類の測長設定値
- 樹種を 4 種類登録でき、個別に測長調整値の設定が可能
- 材積集計機能を標準で搭載

新開発のスタッドローラ（オプション）
- 鉄輪の全周に装着された無数のスタッド（鋲）が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
- 特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンスが容易

For the future with forest

イワフジ工業株式会社
http://www.iwafuji.co.jp/

（北関東支店） 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
（本社・工場） 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1
（支　　店） 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

林業福島 十二月号 通巻第六六四号
令和元年十二月一日発行
（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 水戸 典明
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一一〇円
年間購読料一、九八〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シート

ハチ退治

ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1-19-10
お問い合わせ　TEL. 03(6740)7777
平日 9:00～17:00（土・日・祝日は休み）

ZENOAH®

人と共に　緑と共に

For Professional

BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional

GZ3950EZ
排気量 39.1cc
／
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR

刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100

破砕径：200mm　出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1